

第84回 惣菜のわかる八百屋塾

Spring 2023

「惣菜のわかるオヤジの欧州視察記」

FRUXグループ代表 黒田久一

3. 躍進するハードディスカウンター

① ALDI

① LIDL

② Swift/Icelandのニューフォーマット

【ALDI】 アルディ

ALDIについては、やや複雑です。
元々は一つの会社でドイツで生まれました。
その後、Aldi Nord(北アルディ)と
Aldi Süd(南アルディ)に分かれました。

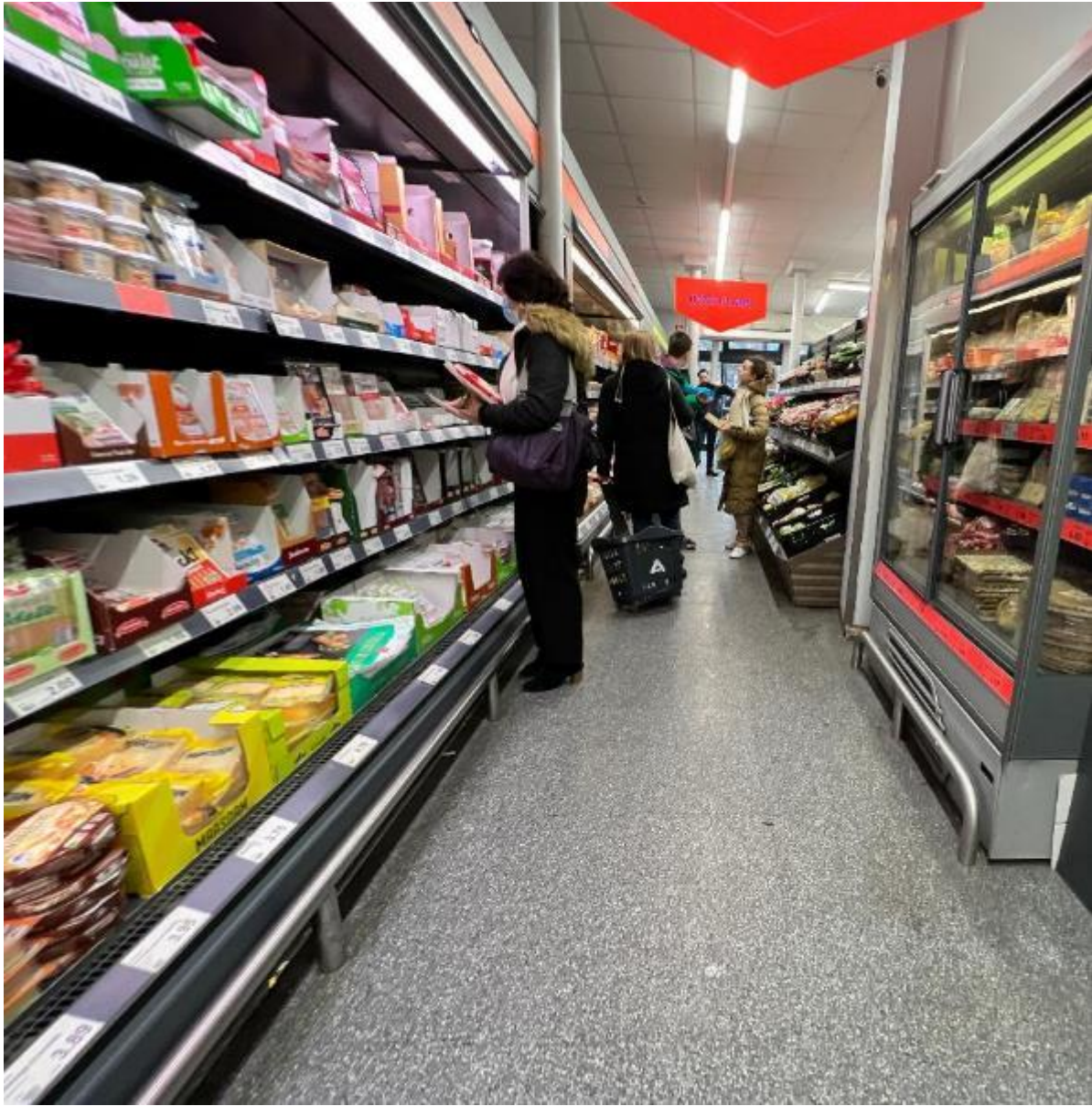
Aldi Nord(北アルディ)
デンマーク、フランス、ベネルクス諸国、
ポルトガル、スペイン、ポーランドなど、
ちなみにアメリカのTrader Joe'sは、
Aldi Nordによる経営と言うことです。

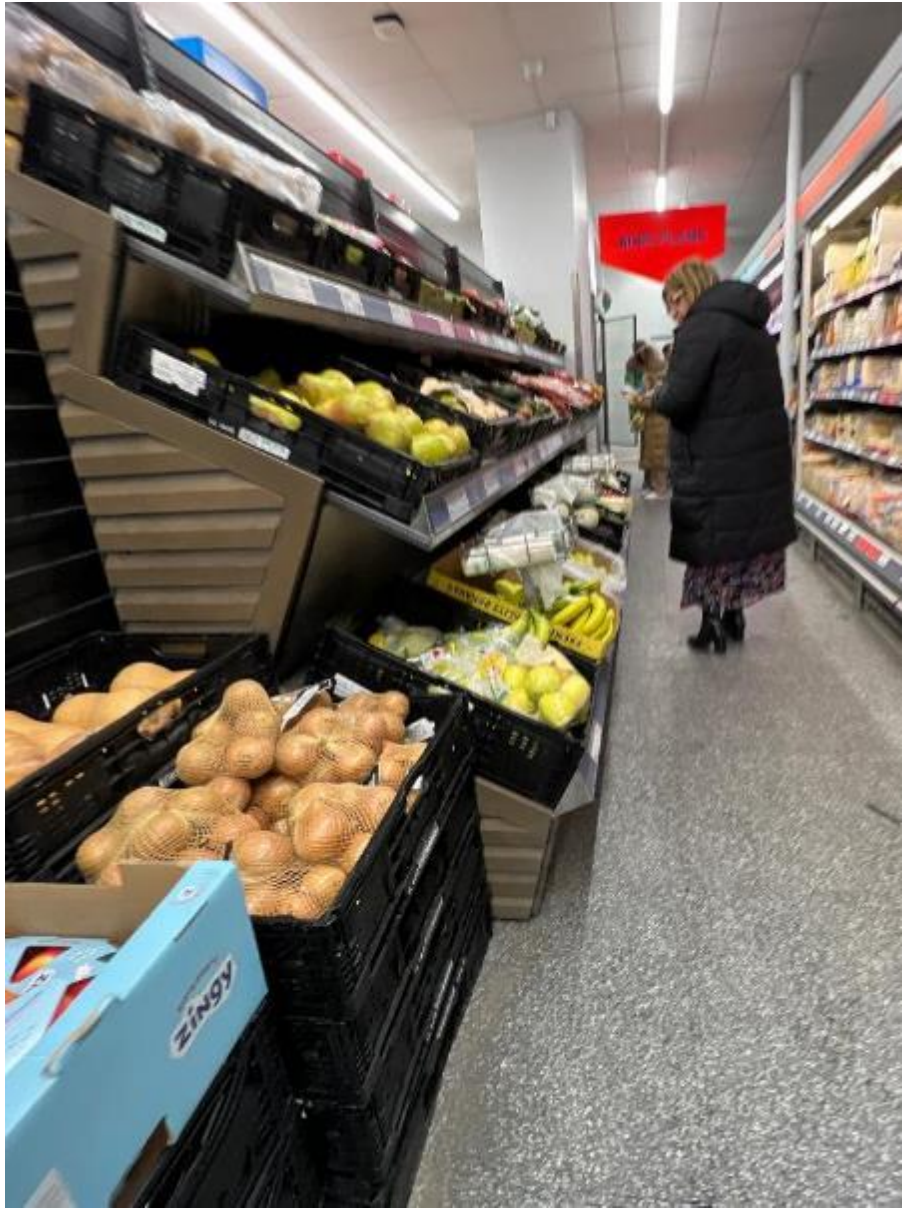
Aldi Süd(南アルディ)
アイルランド、イギリス、ハンガリー、スイス、
オーストラリア、イタリア、オーストリア、
スロベニアで事業を展開しています。
アメリカで「ALDI」と言うBanner(バナー)で
展開しているのは、南アルディと言うことです。

今回は、シンプルに【ALDI】と言う
ハードディスクカウンターが世界的に
躍進している事実に残りたいと思います。

今回、ロンドンのALDIには行くチャンスがなく、写真はパリ市内のALDIです。

















【LIDL】リドル

ロンドンの
Finsbury Park(フィンズベリー・パーク)のLIDLに行きました。
LIDLはALDIと同様、
ドイツ系ハードディスカウンターです。

イギリス国内の市場シェアは第6位で7.1%です。

ALDIもLIDLも世界的に成長しています。
LIDLはドイツの Schwarz Group(シュヴァルツグループ)の1つです。

Schwarz Groupは、世界第5位の巨大流通グループです。
LIDL以外にKauflandというSMも経営しています。
東欧に多数店舗を展開し、
以前、チェコのプラハでKauflandに入ったことがあります。

LIDLは欧州全体に30カ国に出店し、既にアメリカにも進出を果たしました。
アメリカに進出し、間もない頃、フィラデルフィアのLIDLを見ました。

LIDLは、世界で、13,000店舗もあるようです。



LIDLやALDIは、
昔は生鮮品はあまり置いてませんでした。

しかし、今はかなり充実して来ています。

昔、ALDIやLIDLは、
「ボックスストア」と呼ばれたりしていました。

陳列作業のコストを下げる為「段ボール箱のまま」
補充します。
その為にメーカーに仕様を依頼しています。

日本でも、ドイツのALDIの業態に感銘を受け、

ダイエーさんの創業者である中内功氏は、
ビッグ・エー(Big-A)を始められました。







「クロワッサン戦略」

以前、ある流通視察ツアーでコンサルタントの先生から、

「ALDIとLIDLは、戦略的に良質のクロワッサンを廉価で、かつ、バックヤードで冷凍を焼成しています」と聞きました。

確かに、ALDIもLIDLもクロワッサンをはじめ、パン類がむちゃくちゃ安いです。

来店頻度を高める為の戦略かと思います。

アメリカで生まれたCostcoが車社会を意識し、ガソリンを廉価で販売する。

あれと同じ発想だと思います。



LIDLのパンコーナー

クロワッサンが、
49ペンス。

物価高のロンドンで、
約83円です。

安い!!

ちなみに、
高級百貨店の
Harrodsのクロワッサンが5ポンドでした。

実に10倍。

pains au chocolat(パン・オ・ショコラ)でも、

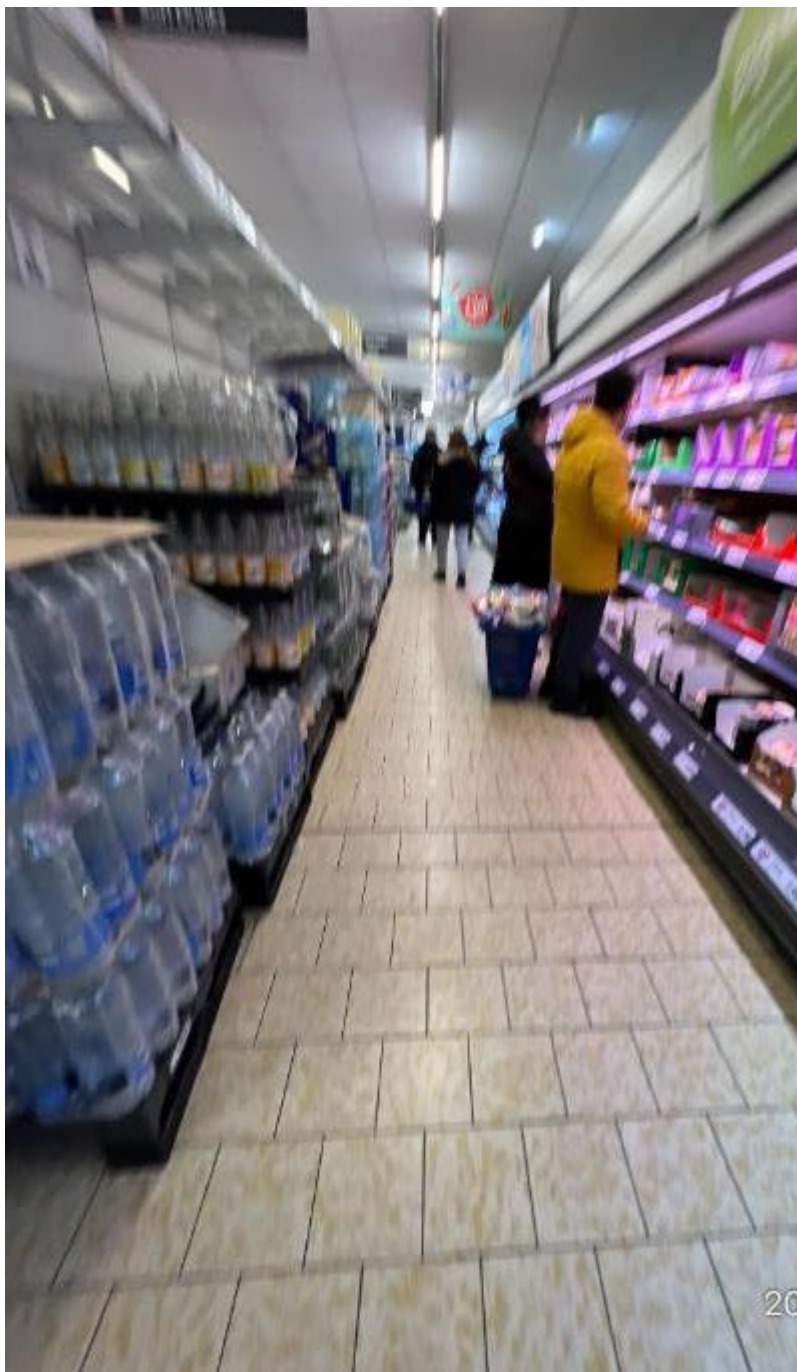
59ペンス。
約100円。
その他のパンも安い











水も安い
2リットルで35ペンス。
約60円。







搾りたてオレンジジュースの機械が置いてありました。

精肉コーナー





プラスチックのリサイクル回収



【Swift】 スウィフト

アイスランドが新しいフォーマット(業態)にチャレンジしているという情報をロンドンに到達した日に知り、早々に行ってきました。

Swift

(by ICELAND convenience store model)

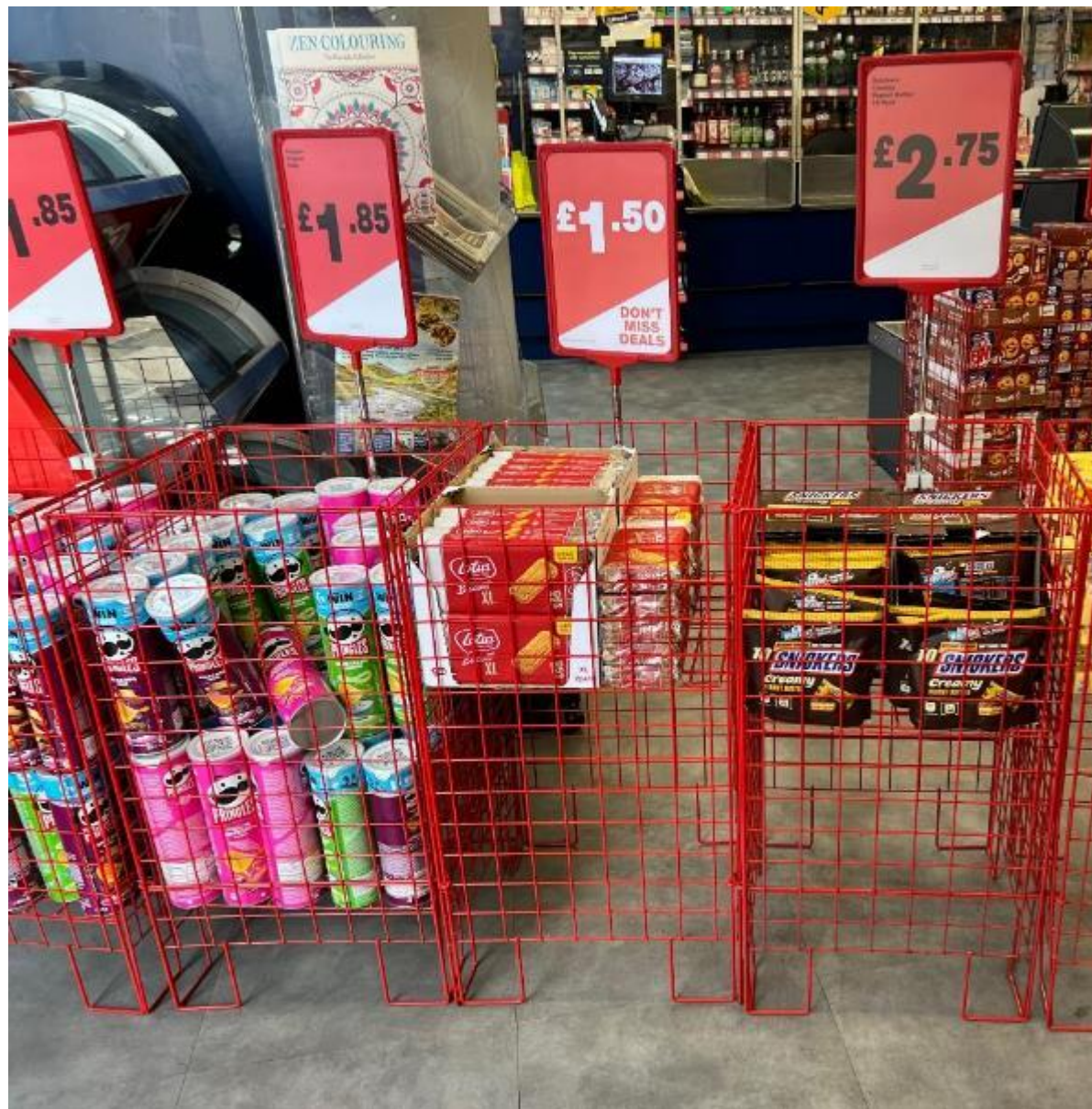
ICELANDがイギリスで大躍進する

ALDIやLIDLに対抗する為に、

同様のフォーマット開発をしたのだと思います。



価格訴求を明確に打ち出しています。
全てがかなり安い。



青果物もジャストプライス、
つまり、**1£商品**が目立ちます。





驚くような安さです。
ミニピザは、僅かに70ペンス
ガーリックブレッドは、1£



2023/02/24



2023/02/24

驚いたのは、Swiftは、ICELANDが展開する小型ディスカウンターですが、
かなりの商品にCo-opマークが付いていたことです。

青果物は大半がCo-opブランドでした。

調べたら、
どうやら英国Co-opが、

Beatwayと言うサプライヤーを通じて、

Swiftと契約をしているようです。

日本じゃ、なかなか考えられない仕組みです。

カット野菜は、Co-opマークが。

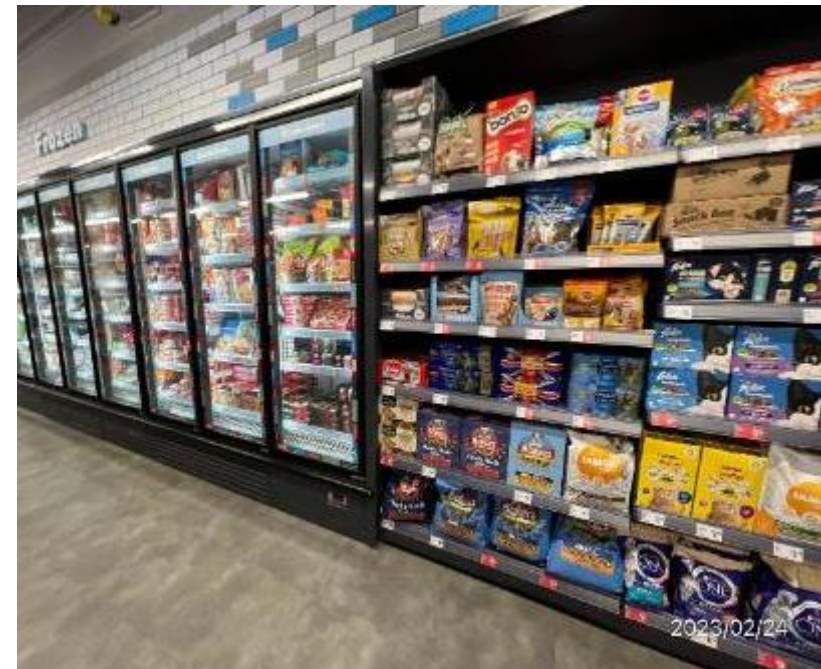
Beatwayは、

イギリスのwholesaler(ホールセラー)のようです。











Swiftで最安値のワイン 5.25£

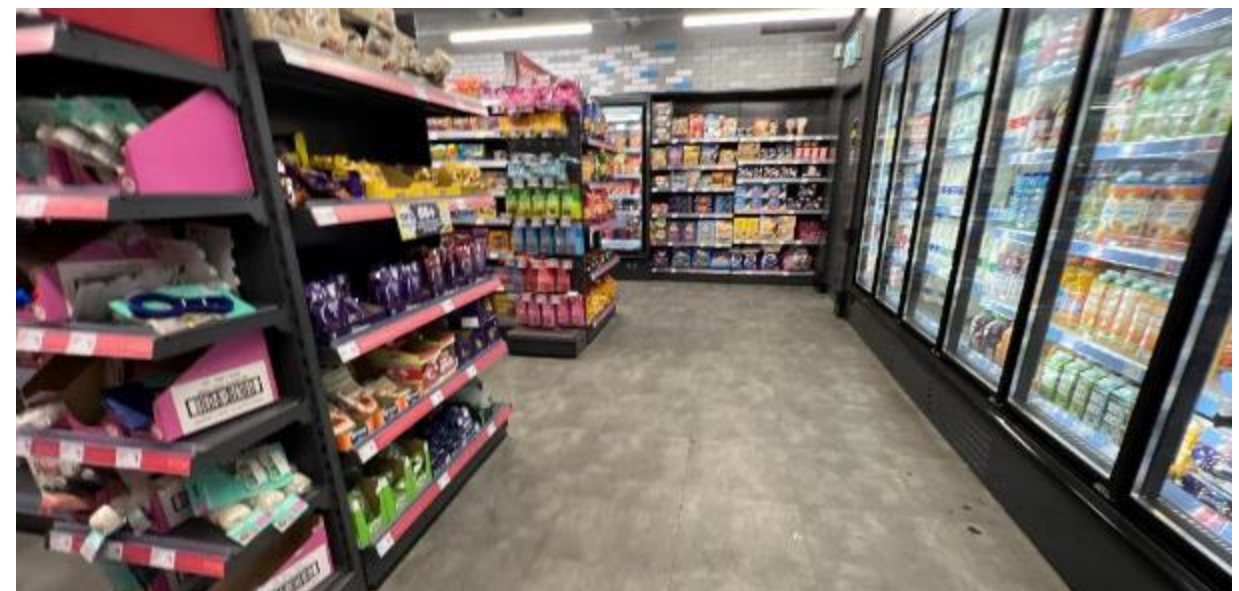
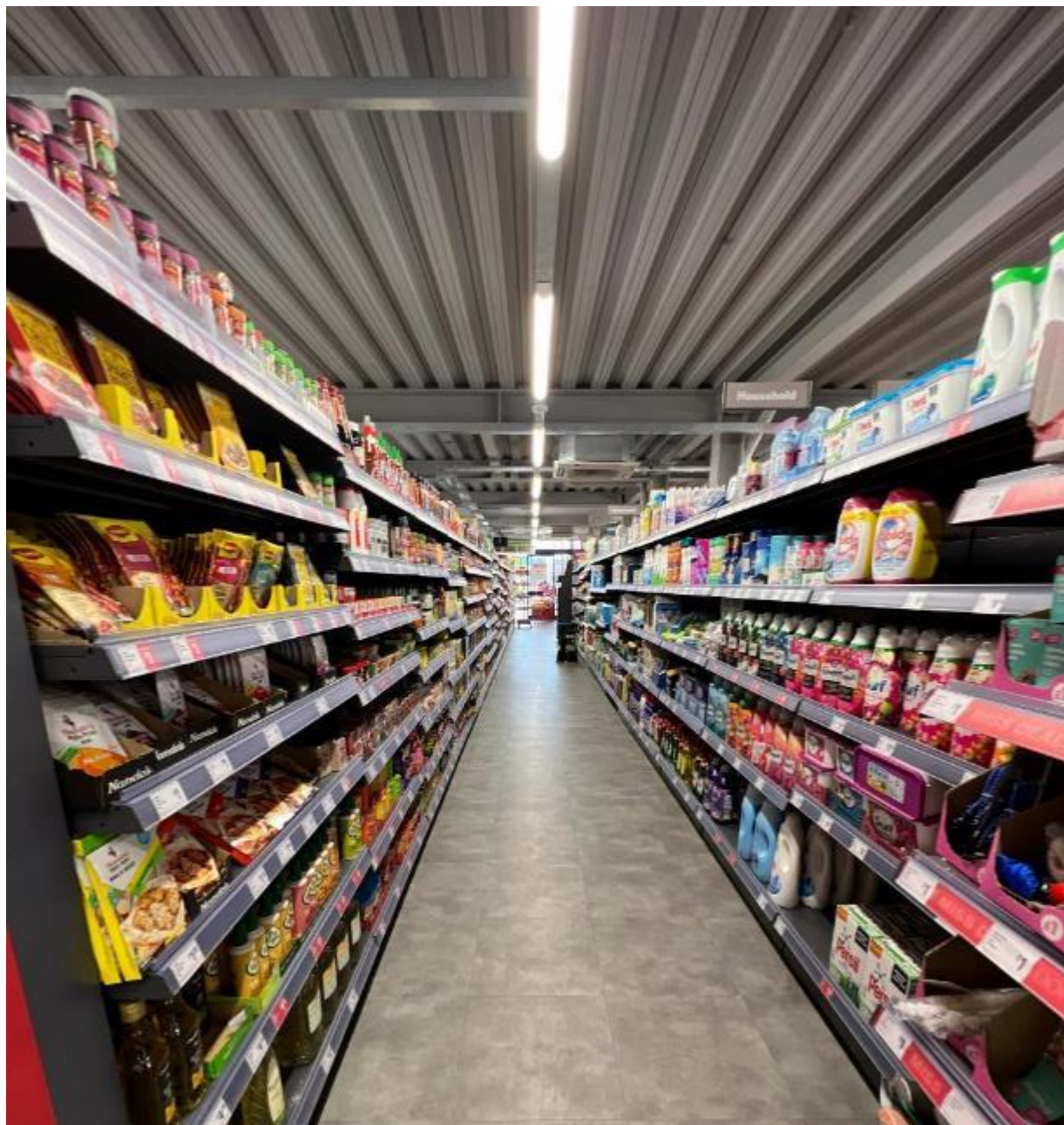
×1ポンド@170円 862円



2リットルの水 60ペンス







イギリスでの食品物価上昇率が、前年比で16.7%と、もはや、狂乱物価に近い。

だから、英国民は生活防衛の為、

- ・ ALDI
- ・ LIDL
- ・ ICELAND
- ・ FarmFoods などを活用する。

在来型SM4大チェーンの、

- ・ TESCO
- ・ Sainsbury's
- ・ ASDA
- ・ Morrisons

さらに、

- ・ Co-opや
- ・ Waitroseまでも、
プライスマッチせざるを得ない状況に
追い込まれています。



Swift ICELANDの新業態へのチャレンジです。